

# 総合計画／実施計画書 兼事務事業評価シート

事業期間 H21 ～ H23

担当部局	部局名	産業経済部
	課室名	農業振興課

1. 基本施策名等（基本計画における「基本施策名」等を記入）		
基本施策ID	基本施策名	
4 - 1 - 1	消費者ニーズに対応した農林産物を創出する	
重点施策ID	重点施策名	
4 - 1 - 1 - 1	農林畜産物のブランド化及び産地化の推進	

2. 事業名等			
事業名	気象変動に対応した水田農業生産体制確立事業	事業区分	① ①新規 ②継続 ③その他 ( )
細事業名	気象災害に強い大豆生産技術拡大事業	実施形態	① ①毎年 ②隔年 ③その他 ( )
事業主体	県、市		① ①直営 ②指定管理 ③委託
事業種別	① ①自治事務 ②法定受託事務		④その他 ( )
実施期間	平成 21 年度 ～ 平成 23 年度	根拠法規	気象変動に対応した水田農業生産体制確立事業実施要綱、気象変動に対応した水田農業生産体制確立事業実施要綱
各種の計画への反映 (=根拠計画)		農業振興計画	事業ID

3. 事業の内容等			
<b>事業の背景</b> 気象の変化（夏場の高温）が、大豆の生育に影響するようになり、また以前には見られなかった害虫が発生するようになったため、品質を著しく落とすようになっている。	<b>補助事業</b>	<b>名称</b> 気象変動に対応した水田農業生産体制確立事業（気象災害に強い大豆生産技術拡大事業）	
		<b>補助率</b> 国 県 その他 1/ 1/ 2 1/	
		<b>起債の種類</b> ① ② ③	
<b>事業の目的及び対象</b> 【目的】 品質低下抑制対策・・・収穫新技術の緊急拡大を図り、短期間で広範囲に収穫技術を定着させ、品質の向上を図る。作期分散による品質低下抑制・・・成熟期の違う品種を導入し、収穫適期に作業が行い、品質向上を図る。 【対象】 生産集団	<b>事業概要</b> 品質低下抑制対策・・・[事業内容]：収穫作業新技術緊急拡大普及圃の設置、研修会の開催、生産者相互の技術検証会、収量・品質調査、波及活動等 作期分散による品質低下抑制・・・[事業内容]：別品種の生育調査のための実証圃、種子助成、研修会の開催、収量・品質・経営調査、実需との意見交換等 [補助率]県費1/2、実施主体1/2 <b>前年度の評価</b> <b>評価結果に基づき見直した内容</b>		

4. 予算・決算の状況 (単位：千円)								
財源内訳		H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23～
予 算	国庫支出金							
	県支出金					1,000	1,000	1,000
	地方債							
	その他							
	一般財源							
	計					1,000	1,000	1,000
決 算	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源							
	計							

5. 実績及び達成目標等			
過去3年間の事業実績と課題			
平成18年度	平成19年度	平成20年度	課題
【実績】	【実績】	【実績】	

達成目標と前年度までの進捗状況……事業成果の目標となる指標と目標数値							
活動指標	技術普及件数						
効率指標	-						
成果指標	実証ほの設置数						
	単位 箇所						
年度	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	備考
種別					実証ほ	実証ほ	
目標値					2	2	
実績値							
達成率							
備考							